

## FY2021年の決算概要

恵寿友会のFY2021年（2021年4月1日から22年3月31日まで）の決算を報告します。

表「(A) 恵寿友会決算書」(以下A)の通り、FY2021年の決算は¥1,759,459の黒字(予算ではKY¥1,151の赤字)となりましたが、これは前年に引続きコロナ禍で活動ができなかったことにより予算が実行できなかったことを反映しています。当期末繰越金は¥14,247,732で、前年末繰越金¥12,488,273より¥1,759,459(当期黒字額)増えていますが、A下段に示すようにこの繰越金と増加額は、前期末・当期末の現預金残高とその増加額に一致します。

Aの予算はコロナ感染の改善に連れて会の活動も回復することを前提に算定されましたが、2020年に続き当期も殆ど活動ができなかったため、当期の決算収支は表「(B) FY2020年決算、FY2021年決算、FY2022年予算」(以下B)の通り、FY2020年(KY¥1,755の黒字)とほぼ同額でした。両年の比較では、会社補助金の減少額KY¥102(KY¥2,742—2,640)と支出の減少額KY¥109(KY¥1,114—1,005)がほぼ相殺・均衡しています。当年の収入、支出の内容についてはAの欄外にコメントがありますので参照してください。本部運営費としては、4回のオンライン幹事会と幹事の在宅での活動費が大部分で、その他は経常的に発生する事務所インターネット通信費などです。また、支部運営費・関東諸行事KY¥60はフラメンコ鑑賞の入場料補助です。

2022年予算ですが、2021年と同様にコロナ感染が改善することを前提に全国懇親会と本部運営費を予測し、会社補助金、支部運営費は2022年3月末の会員数、古稀ワインは該当者をベースに計算しています。

以上